

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第79期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小熊 信一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸山 光二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸山 光二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第78期 第2四半期 連結累計期間	第79期 第2四半期 連結累計期間	第78期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,214,606	1,279,576	2,421,629
経常利益(千円)	23,312	36,499	2,041
四半期純利益又は四半期(当期)純損失 () (千円)	33,688	22,193	6,221
四半期包括利益又は包括利益(千円)	54,685	29,730	26,604
純資産額(千円)	1,762,892	1,804,803	1,790,957
総資産額(千円)	3,215,691	3,228,065	3,209,083
1株当たり四半期純利益金額又は1株当 たり四半期(当期)純損失金額() (円)	15.91	10.48	2.94
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	53.3	54.4	54.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	64,721	107,675	2,278
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	20,013	41,941	34,662
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	41,834	58,934	78,600
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	453,405	415,671	408,872

回次	第78期 第2四半期 連結会計期間	第79期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当 たり四半期純損失金額() (円)	0.37	2.77

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第78期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成24年3月期第2四半期の売上高につきましては、震災に伴う様々な影響により期中において販売時期の変動がありました。若干受注が増加した事や、前年は「管瓶」が減少していましたが、今年はほぼ例年通りに戻った事等で前年を上回り、売上高12億7千9百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

利益面につきましても、売上高が増加した事や稼働率及び製造歩留りの向上やさらなる経費削減に取り組んだ結果、前年と比較して営業利益は3千2百万円（前年同期比26.9%増）、経常利益3千6百万円（同56.6%増）、四半期純利益2千2百万円（前年同期は四半期純損失3千3百万円）とそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1千8百万円増加し32億2千8百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が4千8百万円及び機械装置及び運搬具が2千3百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金（純額）が4千3百万円及び建設仮勘定が1千7百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して5百万円増加し14億2千3百万円となりました。主な要因は、社債が3千5百万円及び長期借入金が8百万円減少した一方で、買掛金が1千5百万円、未払法人税等が1千4百万円及び流動負債のその他が1千8百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1千3百万円増加し18億4百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が6百万円及びその他有価証券評価差額金が6百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には4億1千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億7百万円（前年同四半期は6千4百万円の資金増加）となりました。これは主に売上債権の増加4千3百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上3千6百万円、減価償却費4千万円及びたな卸資産の減少による収入4千4百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4千1百万円（前年同四半期は2千万円の資金減少）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる1億7百万円の収入があった一方で、定期預金の預け入れによる支出1億1千4百万円と有形固定資産の取得による支出2千9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5千8百万円（前年同四半期は4千1百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入1億円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億8百万円、社債の償還による支出3千5百万円及び配当金の支払による支出1千5百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成23年7月1日～平成23年9月30日		2,142,000		107,100		582

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
小熊 淳一	東京都文京区	1,025	47.88
小熊 信一	千葉県市川市	147	6.86
末松 國彦	福岡県行橋市	102	4.76
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.02
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	75	3.52
石川 嘗	栃木県鹿沼市	66	3.08
第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町3-5-1	62	2.89
中央商工株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-44-4	28	1.32
東京東信用金庫	東京都墨田区東向島2-36-10	28	1.32
武田 恭子	埼玉県朝霞市	26	1.25
計		1,648	76.94

(注) 所有株式数は千株未満切り捨て、所有株式数の割合は小数第2位未満を切り捨てて記載しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,000	21,130	
単元未満株式	普通株式 5,000		
発行済株式総数	2,142,000		
総株主の議決権		21,130	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が73株含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	24,000		24,000	1.12
計		24,000		24,000	1.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	266,502	268,163
受取手形及び売掛金(純額)	² 632,837	² 676,002
有価証券	247,067	259,219
商品及び製品	439,644	391,353
仕掛品	2,313	2,540
原材料及び貯蔵品	42,527	45,878
未収入金	47,946	54,413
繰延税金資産	29,784	33,170
その他	12,022	1,088
流動資産合計	1,720,645	1,731,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	310,126	307,705
機械装置及び運搬具(純額)	170,483	147,419
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	2,479	19,638
その他(純額)	8,801	9,143
有形固定資産合計	937,987	930,004
無形固定資産	2,288	2,150
投資その他の資産		
投資有価証券	465,291	477,173
その他	95,108	99,144
貸倒引当金	12,237	12,237
投資その他の資産合計	548,162	564,080
固定資産合計	1,488,437	1,496,235
資産合計	3,209,083	3,228,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,795	135,696
1年内返済予定の長期借入金	182,300	188,575
1年内償還予定の社債	65,000	55,000
未払法人税等	1,361	15,675
未払事業所税	7,287	3,642
賞与引当金	58,298	58,171
その他	91,102	109,201
流動負債合計	525,145	565,963
固定負債		
社債	150,000	125,000
長期借入金	239,925	225,600
繰延税金負債	90,042	96,120
退職給付引当金	156,591	148,785
役員退職慰労引当金	228,078	233,370
資産除去債務	28,342	28,422
固定負債合計	892,979	857,298
負債合計	1,418,125	1,423,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,440,293	1,446,602
自己株式	8,412	8,412
株主資本合計	1,539,563	1,545,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,596	211,128
その他の包括利益累計額合計	204,596	211,128
少数株主持分	46,797	47,803
純資産合計	1,790,957	1,804,803
負債純資産合計	3,209,083	3,228,065

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,214,606	1,279,576
売上原価	973,945	1,036,151
売上総利益	240,661	243,425
販売費及び一般管理費	214,808	210,621
営業利益	25,852	32,804
営業外収益		
受取利息	298	215
受取配当金	8,193	8,032
受取賃貸料	3,534	2,834
その他	3,350	2,241
営業外収益合計	15,377	13,324
営業外費用		
支払利息	5,050	4,478
賃貸費用	11,297	4,379
その他	1,570	770
営業外費用合計	17,918	9,628
経常利益	23,312	36,499
特別利益		
投資有価証券売却益	12,147	-
特別利益合計	12,147	-
特別損失		
固定資産除却損	81	-
投資有価証券評価損	31,055	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,427	-
特別損失合計	57,564	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	22,104	36,499
法人税、住民税及び事業税	13,093	15,054
法人税等調整額	647	1,753
法人税等合計	12,445	13,301
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	34,550	23,198
少数株主利益又は少数株主損失()	862	1,005
四半期純利益又は四半期純損失()	33,688	22,193

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	34,550	23,198
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	20,135	6,531
その他の包括利益合計	20,135	6,531
四半期包括利益	54,685	29,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,823	28,724
少数株主に係る四半期包括利益	862	1,005

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	22,104	36,499
減価償却費	41,843	40,568
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,427	-
賞与引当金の増減額(は減少)	2,515	127
貸倒引当金の増減額(は減少)	91	101
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,794	5,292
退職給付引当金の増減額(は減少)	32	7,806
受取利息及び受取配当金	8,491	8,248
支払利息	5,050	4,478
売上債権の増減額(は増加)	60,133	43,265
たな卸資産の増減額(は増加)	30,858	44,712
仕入債務の増減額(は減少)	339	15,901
未収入金の増減額(は増加)	5,028	6,467
未払消費税等の増減額(は減少)	3,490	11,213
その他	13,953	1,592
小計	84,959	94,446
利息及び配当金の受取額	8,499	8,256
利息の支払額	5,129	4,530
法人税等の支払額	23,607	740
法人税等の還付額	-	10,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,721	107,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	92,697	114,712
定期預金の払戻による収入	78,690	107,699
有形固定資産の取得による支出	18,063	29,986
投資有価証券の取得による支出	864	905
投資有価証券の売却による収入	16,318	-
その他の支出	3,397	4,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,013	41,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	90,950	108,050
社債の償還による支出	35,000	35,000
配当金の支払額	15,884	15,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,834	58,934
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,872	6,799
現金及び現金同等物の期首残高	450,532	408,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	453,405	415,671

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	113,229千円	167,559千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	794千円	895千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
運賃及び荷造費	30,192千円	29,803千円
役員報酬	44,147	44,355
給料及び賞与	54,775	53,346
退職給付費用	7,431	5,080
役員退職慰労引当金繰入額	4,794	5,292
賞与引当金繰入額	10,924	10,848
減価償却費	4,728	4,453

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	269,188千円	268,163千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	90,697	111,711
有価証券勘定	274,913	259,219
現金及び現金同等物	453,405	415,671

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,884	7.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間
 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失()	15円91銭	10円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	33,688	22,193
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	33,688	22,193
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、かつ、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 奈尾 光 浩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦 光
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。